

対象学生	看護学部看護学科	開講年度	2025
講義科目名称	情報処理入門-1	授業コード	3010
英文科目名称			
担当教員	高見 美友 藤田 和弘		
配当年次・実施時期	1学年・前期	単位数	1 単位
曜日・時限	水曜日4限	時間数	30
授業形態	演習	科目分類	選択

科目コード /実務経験のある科目	科目コード N113 実務経験のある教員等による授業科目 ■該当
---------------------	---

ディプロマ・ポリシー	○： DP① 自ら成長する力 （知識・理解）（態度・志向性） ： DP② 他者と関係性を築く力 （汎用的技能） ： DP③ 人間の生命と尊厳を護る力 （態度・志向性） ： DP④ 人間を総合的に理解する力 （汎用的技能） ： DP⑤ 論理的に思考し、根拠に基づき実践する力 （統合的な学習経験と創造的思考力） ： DP⑥ 協働、連携する力 （態度・志向性）（汎用的技能） ： DP⑦ グローバルな視野で応用する力 （総合的な学習経験と創造的思考力） ： DP⑧ 継続学習と社会に発信する力 （総合的な学習経験と創造的思考力）
------------	---

授業の概要	授業の概要 今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けることを目的として、コンピューターに触れ、データサイエンスの基礎を学ぶ。また、演習として実際にデータの利活用を行い、応用方法も学ぶ。 数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）のモデルカリキュラムに基づいて、「社会におけるデータ・AI利活用」「データリテラシー」「データ・AI利活用における留意事項」を中心に学習する。
-------	---

授業のねらい	高度情報化社会において、データに対する理解、活用は不可欠である。数理・データサイエンス・AI の知識やデータの利活用方法を学ぶことで、自らの成長する力としての情報リテラシーを身につける。
--------	---

授業の到達目標	データに対する理解、データの取り扱い、情報リテラシー、生成AIを含むデータ・AI利活用における留意事項等を理解し、大きく変化する社会でのデータ利活用が行える。
---------	---

授業スケジュール	回	授業計画	学習のポイント
	1	(4/9(水) 4限) ガイダンス (藤田 担当) 課題の提出について	ガイダンス パソコンの使い方やレポート作成・プレゼンテーションといった基礎的な知識・技能の習得、および看護師としてのデータの扱いに関する意識などについて、授業を受ける重要性などについて、説明する。
	2	(4/16(水) 4限) PCの使い方 (藤田・高見 担当)	PCの使い方 授業を受けるうえで必要となるPCの使い方、およびGoogle Education Workspaceの使い方などについて説明する。
	3	(4/23(水) 4限) テキスト1・2章「まず初めに」 「文字入力」 (高見 担当) 文字入力 コンピューターとの付き合い方を学び、適切なコンピューター利用の方法を身に着ける。また、文字入力を基本としたコンピューターの使用法を学び、実践によってコンピューター利用の能力を養う。	文字入力 コンピューターとの付き合い方を学び、適切なコンピューター利用の方法を身に着ける。また、文字入力を基本としたコンピューターの使用法を学び、実践によってコンピューター利用の能力を養う。
	4	(4/30(水) 4限) テキスト3章 「ネットの利用」 (高見 担当)	インターネット利用とリテラシー ネット利用を通じて、データ・AI活用領域の広がりやマーケティング・サービス、対話、コンテンツ生成、翻訳・要約・執筆支援、コーディング支援などを利用した生成AIの活用事例などを学ぶ。
	5	(5/7(水) 4限) テキスト4章 「お絵かきとファイル操作」 (高見 担当)	お絵描きとファイル操作 データ作成と操作を通じて、構造化データ等の社会で活用されているデータについての知識・利活用能力を身につける。
	6	(5/14(水) 4限) テキスト5章 「文書作成」 (高見 担当)	6 テキスト5章 「文書作成」 (高見 担当) 文書作成 文書作成のために、文章データの取り扱いや表現方法について学ぶ。情報に紐づけられるメタデータの理解や文書作成ソフト、フォントを用いることで得られる可読性の向上させる方法を身に着ける。
	7	(5/17(土) 3限 ※補講日) 中間レポート (高見 担当)	中間レポートの作成 学習内容のまとめとして、コンピューターの利活用を実践する。 (テーマなどは講義時に提示する。A41枚程度を想定)
	8	(5/21(水) 4限) テキスト6章 「表計算」 (高見 担当)	表計算ソフトの利用 データの種類や分布、ばらつきなどを理解する。クロス集計表や統計情報の正しい理解ができるように、データを読む能力を身に着ける。Excelの操作を通じて実データを扱い、データ解析ツールを用いたデータの集計等を学ぶ。

	9	(5/28(水) 4限) テキスト7章「プレゼンテーション」 (高見 担当)	テキスト7章「プレゼンテーション」 (高見 担当) プレゼンテーション プレゼンテーション資料の作成と実践を通じて、データを説明し、実際にデータ表現を学ぶ。図表表現やデータの比較を行い、不適切なグラフ表現や優れた可視化事例についても紹介する。
	10	(6/4(水) 4限) テキスト8章「情報の調べ方・まとめ方」 (高見 担当)	Webによる情報発信 検索エンジンの利用法や生成AIを使用した情報検索・取得、取得した情報の活用法について学ぶ。レポート、論文の書き方、論文執筆で必要な研究倫理についても触れる。
	11	(6/11(水) 4限) テキスト9章 「コンピューターとネットワーク」 (高見 担当)	コンピューターとネットワーク コンピューターとネットワークの仕組み、IoTについて学び、社会で起きている変化が自分にどのように関係するか、社会におけるデータの組み合わせなどについて理解する。
	12	(6/18(水) 4限) テキスト10章 「情報とセキュリティ」 (高見 担当) 情報とセキュリティ データ利活用における留意事項として、情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介などから情報セキュリティや悪意ある情報搾を学ぶ。	情報とセキュリティ データ利活用における留意事項として、情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介などから情報セキュリティや悪意ある情報搾を学ぶ。
	13	(7/2(水) 4限) テキスト11章 「情報と法律」 (高見 担当)	情報と法律 例：データ・AIを扱う上での留意事項として、著作権法、個人情報保護法、不正アクセス禁止法、ELSIなどから情報と法律について学ぶ。データ・AI活用における負の事例紹介などを通じて、データ倫理や責任論等にも触れる。
	14	(7/9(水) 4限) 期末レポート (前半) (高見 担当)	期末課題 学習内容のまとめとして、レポート作成を行う。 (テーマなどは講義時に提示する。A4 1枚程度を想定)
	15	(7/16(水) 4限) 期末レポート (後半) (高見 担当)	期末課題 学習内容のまとめとして、レポート作成を行う。 (テーマなどは講義時に提示する。A4 1枚程度を想定)
履修要件	特になし		
成績評価の方法・基準	平常点：100%（講義毎の進捗確認テスト、中間レポート、期末レポート課題学習）		
教科書・テキスト	『[改訂第5版] 基礎からわかる情報リテラシー』2023, 技術評論社, ISBN 978-4-297-13765-6		
参考書	特になし		
授業外学習の指示 (準備学習等に必要な時間含む) 及び課題等のフィードバックの方法	・レポート作成などはコンピューターを利用しての作成を推奨している。その関係から普段の活動においても、コンピューターの利用を推奨している。 ・授業外学習：予習復習に各 1 時間 合計15時間 ・事前課題：各回で取り扱う用語について事前にパソコンなどの情報端末を使って調べておく ・事後課題：各回での進捗確認テストで間違えた部分を再復習する、積極的にパソコンを使った情報収集をする。 ・レポートはすべてGoogleClassroomで掲載・回収を行う。フィードバックとしては次回講義での講評を行う。		
オフィスアワー	講義時間前後		
担当教員からのメッセージ	Google Classroomで連絡のやり取りを行う。		
担当教員の連絡先	教務課に連絡		